

令和7年度 TO 講習会 資料

1. ダウンロードできる資料について（JBA ホームページより）

- TO マニュアル
- TO マニュアルハンドブック（2025年度版）
- TO 主任マニュアル（2025年度版）
- U12 TO マニュアルハンドブック（2025年度版）
- U12 TO サポーターマニュアル（2025年度版）

2. 気になる点

○メンバー登録は一人一人読み上げずに、終わったら「登録終わりました。」または、「どうぞ。」のみ。

○タイムアウト、メンバーチェンジの時は、TO 席は立たずに、まず、サインを声無しで示し、それからベンチを指す。

- チームからのタイムアウトの請求や交代の申し出を審判に知らせます。合図は、座ったままでブザーとジェスチャーで行います（声は出しません）。また、ポゼッションアローを操作します。

タイムアウトの合図	交代の合図
	
ブザーを鳴らしたあと、両手でTの字を示し、続いて請求したチームのベンチを指す。	ブザーを鳴らしたあと、両手を顔の前で交差し、続いて申し出のあったチームのベンチを指す（① ⇒ ②）。両チーム交代の場合は、両方を指す（① ⇒ ③）

【U12 TO マニュアルハンドブック（2025年度版）P4】

○ポゼッションアロー（矢印）は持ち上げない。

- ジャンプボールシチュエーションが宣せられたら（第2 Q以降の各 Q、OT の最初の スローインの前

も含む)、アローに手を添えて準備をし、スローインのボールがコート上のプレーヤー（味方でも敵でも）に触れたときにアローを反転します。（アローは、ファウル数のように持ち上げて見せる必要はありません。）

【U12 TO マニュアルハンドブック（2025年度版）P4】

○ハーフタイムのスコアチェックは前半の得点のみ。1Q〇点、2Q〇点と細かく確認はしない。

・第2Qが終了したら、スコアラースコアシートと、両チームのスコアシートを照らし合わせて、前半の各プレーヤーとヘッドコーチのファウルの個数と合計得点を確認します。また、後半の最初にスローインするチームを確認します。

【U12 TO マニュアルハンドブック（2025年度版）P5】

○ファウルは、まずチームファウルを積み、（ぐるぐる回す必要はありません。

すぐに積む。）それから個人ファウルを上げる。（横、正面、横を3秒ずつ、手を伸ばして）

（1）個人ファウル個数の表示と合図（※合図のブザーはスコアラース仕事）

- ・個人ファウルの個数はスコアラースコール（例：「白4番。3回目」）を受けて、下図の3段階で表示します。声は出しません。電子式表示器具の場合は5秒程度表示します。
- ・5個目の個人ファウルは、スコアラースブザーで審判に伝え、アシスタントスコアラース②と③の二段階で表示します。（ファウルアウトするプレーヤーの交代のブザーは鳴らしません。交代のジェスチャーも行いません）



※ ヘッドコーチからよく見えれば、標識は前方ではなく上方に出してもよい。（①と③）

（2）チームファウル個数の表示

- ・チームファウルの個数は、審判のレポートでどちらのチームのファウルかが分かたらすぐに表示します（個人ファウルより先に表示）。積み上げ式の場合、ショットクロックオペレーターがチームAの表示をします。
- ・4個目のチームファウルの後、審判がスローインまたはフリースローのボールをプレーヤーに渡したら、チームファウルペナルティーの赤い標識を表示します。数字（チームファウルの個数）は表示しません。このとき、声を出したりブザーを鳴らしたりすることはありません。



【U12 TO マニュアルハンドブック（2025年度版）P5】

○タイムアウトの計測スタートについて

- ・審判が「タイムアウト」のシグナルを示したらスタートする。TO 席の「タイムアウト」の合図で始めない。

(3) タイムアウトの計測

- ・審判がタイムアウトのシグナルを示したら、ストップウォッチで45秒をはかり始めます。
- ・35秒経過したときと45秒経過したときにブザーを鳴らします。
- ・ブザーのスイッチがタイマーの押せる位置にない場合は、スコアラーがブザーを鳴らします。

【U12 TO マニュアルハンドブック（2025年度版）P6】

○試合のスタート、24秒計のスタート

ゲームクロックの〔スタート/ストップ〕のタイミング		合図
スタート	● ジャンプボールのボールがジャンパーにタップされたとき ● 最後のフリースローのボールがリングに触れたあと、コート上のプレーヤーに触れたとき フリースローの成否にかかわらずスローインが続く場合（アンスポなど）は除く。 ● スローインされたボールにコート上のプレーヤーがボールに触れたとき ゲームクロックが動いている間のゴールのあとのスローインは除く。	 ①スタートと同時に手のひらを握り、 ②手をおろす
ストップ	● ゲームクロックが動いている間に審判が笛を鳴らしたとき ● タイムアウトを請求していたチームの相手チームがゴールで得点したとき ● ショットクロックのブザーが鳴り、審判が笛を鳴らしたとき ショットクロックのブザーが鳴っても、審判が笛を鳴らさなければプレーは続行されるので、ゲームクロックは止めません。	 ストップと同時に開いた手を上げる

(1) ボールのコントロール

- ・ショットクロックは、プレーヤーが「ボールをコントロールしたとき（ボールを持つかドリブルを始めたとき）」に計り始めます。ボールに触れたり、はじいたりしただけではボールのコントロールは始まりません。ボールを「コントロールすること」と「触れること・はじくこと」をしっかりと区別しましょう。

- 例1 リングに当たったボールをA1とB1がジャンプして何度かはじいたあと、A1が大きくはじいたボールをA2がつかんだ。
⇒ A2がつかんだときにチームAのボールコントロールが始まる。
- 例2 A1が持っているボールをB1がはたき出して転がったボールを、A1とB1が追いかけて行き、
i) A1がボールをつかんだ。⇒ チームAのボールコントロールはとぎれることなく続いている。
ii) B1がボールをつかんだ。⇒ B1がボールをつかんだときにチームBのボールコントロールが始まる。
- 例3 A1からA2へのパスをB1がカットして、コート外に出そうになったボールを、B2が追いかけてコート内からジャンプして片手で投げ入れて、そのボールをA3がつかんだ。
⇒ B2が空中でボールを支え持ったときにチームBのボールコントロールが始まり、A3がボールをつかんだときにチームAのボールコントロールが始まる。ショットクロックは2回24秒にリセットされる。

- ・スローインでゲームを再開するときは、スローインのボールを持っているときにすでにコントロールが始まっているため、スローインされたボールにプレーヤー（味方でも敵でも）が触れた瞬間に計り始めます。

【U12 TO マニュアルハンドブック（2025年度版）P6、7】

○24 秒計の操作について

24 秒計を「表示」「非表示」する時がある。

U12 TO マニュアルハンドブックの P7～P10 参照。

※フリースローの時は非表示にする。

○スコアの書き方

オウンゴールの時は

▲を書きます。

番号は書きません。

フリースロー ・外側の枠に得点したプレイヤーの番号を書き、点数の上に塗りつぶした丸を描く。			
8	●	6	
8	●	7	4
	8	8	
▲	9	9	7
	10	10	7
7	11	11	
	12	12	11
4	13	13	
	14	14	5
10	15	15	
	16	16	5

○スコアラーとアシスタントスコアラーのコミュニケーション

○タイマーとショットクロックオペレーターのコミュニケーション

お互いに声をかけ合いながら、試合の運営を進めましょう。